



生產品種と数量の変動に低コストで対応するための生産プロセス改革！

『“短納期・フレキシブル”生産システム構築』

日時／2022年2月15日(火) 10:00~17:00

会場／東京・平河町近辺の会議室

受講料／日本IE協会・他地区協会会員 39,600円

一般 52,800円

日本生産性本部 賛助会員 46,200円

(一名様につき 税込み・テキスト代込み)



講師

㈱MEマネジメントサービス 代表取締役
経営コンサルタント 技術士(経営工学)

小川 正樹 氏

短納期と在庫低減・生産性向上・コストダウンを両立するものづくりへのアプローチ

顧客ニーズの多様化により、生產品種と数量の変動が大きくなっています。この対応策として多くの企業では、短納期でカスタマイズした製品の開発・生産を今まで以上に強力に進めています。そのキーポイントは、製品の企画・開発から製造・出荷にいたるまでを**手戻りのないフレキシブルな一貫プロセスに改革すること**にあります。

一貫プロセスの改革は、日常業務や現場作業の個別改善を行うだけでは不十分であり、**ICT技術を活用した企業全体を同期化する取り組み**が必要になっています。

本セミナーでは、**モノづくりや生産方式の改革**と、**開発・設計部門から生産・製造部門を含めた情報・管理システム改革**の2つの側面から、短納期でフレキシブルな生産システム構築に向けてのアプローチ方法と具体的実践例を交えながら、わかりやすく解説いたします。ぜひこの機会に多くの方々のご参加をお待ちしております。

【プログラム】

1. 『今日企業の抱えている課題と対応策』

- 1-1. 経営環境変化と顧客の要求に応じた即納体制の要請
- 1-2. リードタイムと在庫から見た3つのものづくり戦略

2. 『リードタイム短縮・在庫低減の可能性分析』

- 2-1. リードタイムと在庫の構造を分析
- 2-2. リードタイムから見た在庫の活用ポイント
- 2-3. 適正な製品在庫の目標値を設定
- 2-4. 不定期・不定量の発注方式に向けて
- 2-5. リードタイム短縮による在庫低減事例

3. 『生產品種と数量の変動に対応した“モノづくり改革”』

- 3-1. 生産システムの基本と特徴
- 3-2. 生產品種と数量の変動に対応した生産システム
- 3-3. 同期生産ラインの設計手順
- 3-4. 貴社工場に求められるフレキシビリティを整理する
- 3-5. 品種と数量の変動に対応するハイブリッドな生産方式を構築

4. 『生產品種と数量の変動に対応した“管理方法改革”』

- 4-1. 短サイクルでの計画ローディングによる在庫削減効果
- 4-2. リードタイム短縮のための管理システムの改善ポイント
- 4-3. コスト的にメリットのある負荷・能力の調整手段は何か
- 4-4. TOC(制約条件の理論)とは
- 4-5. TOCを活用したフレキシブルな生産計画の立て方
- 4-6. VCM(バリュー・チェーン・マネジメント)への展開

5. 『フロントローディング型のモノづくりに向けて』

- 5-1. 標準化を活用したフロントローディング型の**開発・設計方式**へ
 - 5-2. 標準化技術と標準化・**モジュール化**の進め方
 - 5-3. デジタルエンジニアリングを活用した開発・設計のリードタイムの短縮事例
- 質疑応答 —

※電卓をご持参ください

【演習】欠品を起こさない最適な在庫量を設定する

【演習】サイクルタイムの異なる類似製品の作り方

【演習】負荷と能力を最低コストで調整する

【演習】利益を最大化する生産計画を作成する

講師紹介

**(株)MEマネジメントサービス 代表取締役
経営コンサルタント 技術士(経営工学)**

小川 正樹 氏

<http://www.mejapan.com/>



(株)日本能率協会コンサルティングを経て、現在、(株)MEマネジメントサービス代表取締役。

原価管理、原価見積、生産・物流管理システムの立案、構築、実施やIE改善を通じて総合的コストダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング業務を中心に活動中。また、開発・設計段階(CAD/CAMを含む)から製造までの領域を扱い、公開セミナーや社内教育も同時に行っている。

著書に よくわかる「レイアウト改善の本」、よくわかる「品質改善の本」、「見える化でわかる開発段階の製品原価管理」、「見える化でわかる原価情報システムの作り方と使い方」/日刊工業新聞社、「絵で見る原価計算のしくみ」/日本能率協会マネジメントセンター などがある。

参加申込は

FAX (03)-3511-4069

ホームページ <https://www.j-ie.com/>

または下記ご記入のうえ
このまま FAXにて
お申込みすることもできます。
。

参加者および申込責任者が上記の「個人情報の取り扱いについて」に同意した上で申し込みます。

『“短納期・フレキシブル”生産システム構築』

CP11 2022年2月15日 河辺・手呂内

■ 貴社名		■ 所在地(〒 - 氏名)	
氏名		所属・役職	
TEL/FAX		会場選択 (○)	
申込責任者	フリガナ E-mail	TEL: FAX:	
参加者(1)	フリガナ E-mail:	TEL: FAX:	ON LINE 集合
参加者(2)	フリガナ E-mail:	TEL: FAX:	ON LINE 集合
合計【 】名		参加費【 円】	

■ キャンセル規定に関して ■

申込受付後、およそ開催日の10日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【(注)※キャンセルは、必ずE-mail、または、FAXにて、日本IE協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の7日前～前々日(開催日初日を含まず起算)：参加費の50%
- ・開催日の前日および当日：参加費の全額(料金のご返金はできません)

「個人情報保護の取り扱いについて」をご一読いただき、同意の上、ご記入ください。ご同意いただけましたら同意署名に印印をお付けください。

個人情報の取り扱いについて同意する。

【個人情報の取り扱いについて】 ※日本IE協会と(公財)日本生産性本部は、2011年4月に事業統合しました。

(公財)日本生産性本部・日本IE協会では、皆様の個人情報を以下のように取り扱います。下記の内容をご確認いただき、同意の上、日本IE協会のプログラムにお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、同意いただけない場合は、適切なサービスを受けられない場合がございます。同意いただいた後でも個別に不同意の表明をすることが可能です。

- 利用目的：①本プログラムに関する各種連絡、資料等の作成・配布、プログラム開催当日や講演者・事務局打ち合わせでの利用。
②日本IE協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査。
※上記以外の目的で個人情報を利用する場合、ご本人に個別に理由を説明し、同意を得た上で行うものといたします。
- 個人情報の第三者提供について：法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に提供することはありません。但し、本プログラムを担当する講演者等に、名簿等を確認いただく場合があります。
- 業務委託について：本プログラムの運営にあたり、業務の一部を外部に委託する場合があります。委託先に対しては、参加者へのサービスに必要な個人情報だけを委託します。(公財)日本生産性本部の選定基準に基づき委託先を選定し、契約により個人情報の保護を徹底するとともに、委託先に対して適切な管理・監督を行います。
- 写真等の利用について：本プログラムでは撮影を行う場合があります。得られた情報や撮影した画像は、日本IE協会の広報宣伝活動に使用することがあります。
- 皆様の権利：個人情報について、ご本人による開示請求・訂正・削除・利用停止等を求めることが可能です。その際は、以下までご連絡ください。【連絡先】日本IE協会：03-3511-4062